

1. 「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

地方分権研究会における教育分野の実践プロジェクトとして、参画県と経済界、学界が中心となり、世界的な視野で行動できる次世代のリーダーを育てていこうと、平成16年度より全国から募集した高校生を対象に2週間のサマースクールを開催。

塾開催中は、国内外で活躍する一流の講師陣による、一般教養のほかビジネス現場の様子や国際問題などの実体験に基づいた講義、塾生同士の活発なディスカッションが連日行われ、コミュニケーション能力や自己表現力の向上を図っている。

<地方分権研究会>

平成14年7月に、榊原英資氏（当時慶應義塾大学教授）の呼びかけにより「地方から日本を変える」という志を同じくする知事、財界や学界のリーダーが集まり、発足した任意団体。岐阜県は同年11月より参加。

2. 第12回「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

(1) 概要

ア 開催期日 平成27年7月25日（土）～8月7日（金）（13泊14日）

イ 開催場所 『グローバルアリーナ』（福岡県宗像市）他

ウ 塾生 高校生186名（うち岐阜県推薦枠12名）

エ 参加費 12万5千円（現地での食費、宿泊費等を含む）

なお、県推薦枠の塾生には中部国際空港から福岡空港までの往復旅費を助成

(2) スケジュール

ア 4月6日（月）～ ・塾生募集開始（～5月8日（金））

・第一次選考（書類選考）

イ 5月24日（日） ・第二次選考（面接選考）、岐阜県推薦枠塾生候補者の決定

ウ 6月3日（水） ・岐阜県推薦枠塾生決定

エ 7月5日（日） ・事前オリエンテーション

オ 7月25日（土）～ ・第12回日本の次世代リーダー養成塾開催（～8月7日（金））

カ 10月18日（日） ・報告会

(3) 岐阜県推薦枠受講者

県内高等学校在学者12名

（1年生：男子1名、2年生：男子3名、女子6名、3年生：女子2名）

3. 岐阜県との関わり

(1) 知事の理事就任

岐阜県知事が「日本の次世代リーダー養成塾」の理事に就任している。

塾長：榊原定征 一般社団法人日本経済団体連合会会長

塾長代理：榊原英資 青山学院大学教授

筆頭理事：小川洋 福岡県知事

理事：参画8道県の知事（岐阜、北海道、青森、岩手、静岡、和歌山、福岡、佐賀） 他

(2) 岐阜県推薦枠

岐阜県は塾に負担金を拠出しているため、優先的に塾に参加できる岐阜県推薦枠10名が与えられており、この県推薦枠の塾生には、中部国際空港から福岡空港までの往復旅費が塾から助成される。(今年度は2名の推薦枠が追加された。)